

カネコシダ

Gleichenia laevissima

ウラジロ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IB

シダ植物



九州特産の常緑性シダ植物。東九州では、大分県だけに分布している。葉は高さ50～100cm。正月のしめ縄やお飾りに使われるウラジロによく似ているが、葉の裏面は黄緑色で白くなく、やや小形。日当たりのよい丘陵地の斜面に群生する。和名は、発見者金子保平にちなんだものである。砂防ダムの建設や風水害などによって、生育地がかく乱され生育状態が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真・文：高岡芳憲)

県内分布 耶馬溪地区

分布域 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)

朝鮮半島, 中国, インドシナ, フィリピン

国定公園指定植物 [耶馬日田英彦山]